

未支給年金決定請求書 請求書（表）記入例

未支給年金決定請求書

受付印	年金番号	受付番号	
寡婦加算	組戻し	転給前	転々給
厚・共 月	有・無 月		

共済組合使用欄です。何も記入しないでください。

日本鉄道共済組合 事務局長 殿

提出日 令和 6 年 1 月 10 日

提出年月日をご記入ください。

死亡した受給権者の氏名、生年月日、死亡した日をご記入ください。

死亡した方	フリガナ	キョウサイ ハケコ	生年月日	死亡した日
氏名	共済 花子	3.明 4.大 5.昭 6.平 7.令	3年 3月 3日	令和 5年 12月 20日

未支給年金を請求する方の氏名、生年月日、続柄、郵便番号、住所及び電話番号をご記入ください。

未支給年金の請求者	フリガナ	キョウサイ タロウ	生年月日	死亡した方との続柄	
	氏名	共済 太郎	3.明 4.大 5.昭 6.平 7.令	33年 11月 22日	長男
	フリガナ	カナガワケン ヨコハマシ ナカク ホンチョウ			
	住所	〒 231 - 8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1			
電話番号	045 (222) 9512	鉄道に勤めていた方のお名前	共済 一郎		

希望する受取機関に○をつけてください。また、デジタル庁へ登録した公金受取口座を指定する場合は、☑してください。

受給権者の死亡に伴い、未支給となっている年金給付を請求します。

未支給年金の受取口座を記入してください。(必ず記入された内容を確認できる通帳のページをコピーして提出してください。)

受取機関	※ 1または2に○をつけ、希望する年金の受取口座を必ずご記入ください。 ※ 指定する口座が公金受取口座（公的給付の受け取りのため、マイナンバーと共に事前に国（デジタル庁）に登録された口座）の場合は、左欄に☑してください。
1. 金融機関（ゆうちょ銀行を除く）	
2. ゆうちょ銀行（郵便局）	
<input type="checkbox"/> 公金受取口座として登録済の口座を指定	

公金受取口座として登録済の口座を指定した場合も記入してください。

公金受取口座として登録済の口座を指定した場合もご記入ください。

受取機関がゆうちょ銀行以外の金融機関の場合は、金融機関名、支店名等、金融機関コード、支店コード、預金種別、口座番号をご記入ください。
※金融機関コードや支店コードが分らなければ記入不要です。

年金送金先	口座名義	カタカナで記入してください	(セイ) キョウサイ	(メイ) タロウ
	金融機関	鉄道共済		横浜
	金融機関コード	支店コード	預金種別	口座番号（右詰めで記入）
	9 9 9 9 9 9 9	9 9 9	1.普通 2.当座	9 9 9 9 9 9 9
ゆうちょ銀行	記号（左詰めで記入）			番号（右詰めで記入）
			-	

訂正の際の記入方法
黒のボールペンで二重線を引き、はっきりと訂正してください。

1 - 2 - 3 4
市〇〇 ~~1-2-3-5~~

受取機関がゆうちょ銀行の場合は、記号と番号をご記入ください。

日本鉄道共済組合における個人情報保護法第17条第1項に規定する保有個人情報の利用目的は、次のとおりです。
1. 長期給付の決定及び支払 2. 長期給付に関する情報の提供

裏面も必ずご記入ください
令和5年12月1日改訂

未支給年金決定請求書 請求書（裏）記入例

受給権者の死亡時当時、請求者との生計同一関係について、(1)から(3)のいずれか該当する項目に○をつけてください。

(2)を選択した方は、該当する理由に○をつけてください。

(3)を選択した方は、「生計同一関係に関する申立書」をご記入ください。

①で「はい」に○をした方で、請求者が配偶者・子以外の方は経済援助の金額もご記入ください。

次の1と2は全員記入してください。

1. 受給権者の死亡時当時、受給権者と生計を同じくしていた次のような方がいましたか。

子	父母	孫	祖父母	兄弟姉妹子	その他の三親等内の親族
いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>	いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>	いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>	いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>	いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>	いる <input checked="" type="radio"/> いない <input type="radio"/>

2. 受給権者の死亡時当時、請求者との生計同一関係についていずれかを○で囲んでください。

(1) 住民票上同一世帯であった。

(2) 住民票上の住所は同一であるが、世帯が別であった。(①または②に○をつけてください。)

① 受給権者の死亡当時、同じ住所に二世帯で住んでいたため。

② 受給権者の死亡当時、同じ世帯であったが、世帯主の死亡により世帯主が変更されたため。

(3) 住民票上の住所は別であった。
下記の「生計同一関係に関する申立書」を記入してください。

受給権者の死亡時当時、生計を同じくしていた方の有無について、該当するほうに○をつけてください。

生計同一関係に関する申立書

死亡した受給権者と請求者の住民票上の住所が異なっているが、生計を同じくしていた場合は、次の(1)・(2)のいずれか1つに○を付した上で【理由】を必ず記載し、(2)を選んだ方は、①と②を記載してください。また、請求者及び受給権者の民法上の三親等以内の親族以外の方の署名を受けてください。

(1) 住民票上は別住所でしたが、実際は同居していました。理由を以下に記載してください。

【理由】

(2) 別居していました。また住民票上も別住所でした。理由を以下に記載し、①、②の設問を記載してください。

【理由】

① 生活費・療養費等の経済的な援助は行われていましたか。	はい・いいえ
経済的援助の回数 (年・月 約 _____ 回程度)	
経済的援助の金額 (年・月 約 _____ 円程度) ※請求者が配偶者・子以外の方は記入してください。	
経済的援助の内容 { _____ }	
② 定期的に音信・訪問等がありましたか。	はい・いいえ
音信の手段 (訪問・電話・メール・その他: _____)	
訪問回数 (年・月 約 _____ 回程度)	
音信・訪問の内容 { _____ }	

「生計同一関係に関する申立書」の(1)または(2)を記入するときは、【理由】を必ずご記入ください。
※【理由】が未記入の場合は、受理できない場合があります。

第三者による証明欄 ※生計同一関係証明書類を提出している場合は、下記証明欄への記入は不要です。

上記の事実と相違ないことを証明します。

また、私は請求者及び受給権者の民法上の三親等以内の親族ではありません。

証明年月日 令和 ____年 ____月 ____日

住所 _____

氏名 _____ 電話番号 _____

※法人(会社、病院、施設等)・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

『受給権者の民法上の三親等以内の親族』**以外の方**に証明を受けてください。
※法人(会社、病院、施設等)・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名をご記入ください。
※生計同一関係証明書類(「未支給年金の請求について」の「3 生計同一関係証明書類について」を参照)を提出している場合は、証明欄への記入は不要です。